

エコチル調査は 15周年を迎えました

～ボタンをつなごう 미래の子どもたちへ～

参加者・関係者のみなさんといっしょに歩んだ15年
おなかの中にいたエコチル調査☆ベビーも小学6年生～中学3年生に
たくさんの応援メッセージが届いています

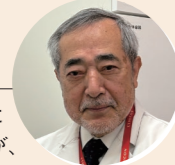
エコチル調査15周年を迎えて

エコチル調査高知ユニットセンター長 菅沼 成文 先生



環境省で「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」が開始されて15年間が経過しました。これまで研究計画の立案段階からお世話になった皆さんに心から感謝申し上げます。私が高知大学に赴任して間もなく、環境因子の健康影響に関する世界屈指の大規模調査が始まると聞き、学内の関係各所にご相談しつつ、高知県内の産婦人科、小児科の先生方にご協力を求め、県内様々な機関の方々のご協力を頂きながら、ユニットセンターの候補として手を挙げました。その時には、ぜひ、高知から世界的な大規模小児環境保健プロジェクトに参加して、未来の子どもたちが安心できる環境作りに貢献すること、そして、高知大学で研究する研究者や学生たちが世界を見ながら切磋琢磨する基盤を作りたいと考えていました。その後のことは、皆さんが目撃して来られていますが、幾多の困難を乗り越えながら、参加者の皆さんに助けて頂きながら、ここまで来ることができました。当初計画の13歳までには間もなく到達しますが、元々の課題達成のためには、成人までの追跡が必須でした。40歳までの追跡となったことで、その目標も見えてきました。科学的な成果は、実際に使われてこそ、真価を発揮します。これまでの成果も産婦人科や小児科の様々な場面で使われるガイドラインに反映されてきましたが、さらに貢献できるように高知ユニットセンターが一丸となって取り組んで参ります。引き続きのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

杜の都産業保健会 一番町健診クリニック
高知大学名誉教授(産科婦人科)
深谷 孝夫 先生



世界的にも注目されている「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」が、2011年に高知ユニットセンターで開始されて以来、本年で15周年の節目を迎えられたこと誠に慶賀の至と存じます。今日までエコチル調査に参加していただいた約7,000組の保護者とお子様、並びに、これまで調査を継続されてきた高知ユニットセンターのスタッフの熱意に心からの敬意を表する次第です。私は調査のキックオフをお手伝いさせて頂いたのですが、この15年の間に、重要な環境要因が次々と明らかにされ、現在の皆様や次世代の子どもの育成に資するための貴重な調査であると今更乍らに実感しております。本調査により、さらなる成果がえられることをお祈りし、15周年のメッセージと致します。

高知大学医学部
生化学講座
特任教授 本家 孝一 先生



子どもたちは、未来そのものであり、人類の宝です。子どもたちの成長を社会全体で大事に見守りましょう。

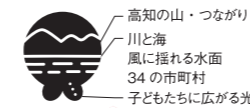
高知地域医療支援センター
(元 高知大学医学部小児思春期医学)
センター長 藤枝 幹也 先生



この度は、エコチル調査の募集開始から15周年を迎えられたとのこと、関係各位の皆様そして調査にご協力いただいた約7,000組のお子様と保護者の方々のご尽力、ご協力に心からお礼とお祝いを申し上げます。お陰様でお子様が健やかに育つための種々の要因が明らかにされ、幾世代にも役立つ知識の蓄積が現在進行形で進んでおります。今後も本調査が継続され次世代への贈り物がさらに増えることを期待しております。ご協力いただいたすべての皆様の本調査への参加を機に健康を再認識され、健やかで平穏な日々をお送りいただけますようお願い申し上げます。



15周年を迎え、
エコチル調査のロゴが
新しくなりました。
これからは、このロゴを目印に
見つけてください。



高知の山・つながり
川と海
風に揺れる水面
34の市町村
子どもたちに広がる光

新ロゴの由来

高知を吹き抜ける風とともに
山をくぐってきた水が
光を受けてきらめく川になり
大きな海につながる
たくさんの人の思いを乗せた
小さな一粒一粒が
大きな一つになって
たくさんの人の未来につながる
エコチル調査に関わる
スタッフ・参加者さん
みなさんの思いを乗せた
ロゴをイメージしました
デザイナー 石川由以



高知大学医学部 環境医学教室
特任助教
上村 智子 先生(小児科医)

エコチル調査にご参加いただいている皆さま、いつも本当にありがとうございます。調査に協力してくださる親子の皆さまのおかげで、



子どもたちの成長や健康について、たくさんの大切なことが分かってきています。日々の忙しさの中でのご参加に、心から感謝しています。これからも一緒に、子どもたちの未来を育てていけたら嬉しいです。

高知大学医学部附属病院 検査部
臨床検査技師長
徳弘 慎治 様

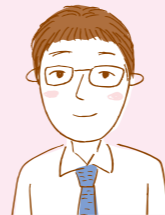
エコチル調査にご協力いただいているお子様と保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。皆様のご協力によって積み重ねられるデータは、子どもたちの健康や成長を支える大切な知見となり、これからの子育てや社会の未来につながっていきます。

私たちが臨床検査部門としてその一端に関われることを大変光榮に思っています。皆様のご協力に敬意を表するとともに、お子様の健やかな成長とご家族の幸せを心より願っています。



高知大学医学部
小児思春期医学講座
大石 拓生 先生(小児科医)

エコチル調査にご協力いただき誠にありがとうございます。おかげ様で、これまでわからなかったことが、それも日本人で、たくさん明らかになってきました。このことは、皆さんの健康維持に役立つだけでなく、次の世代の子どもたちの病気の予防や新しい治療方法の開発にもつながると考えます。しかし、まだまだ、明らかにしなければならないことが残っていますので、ぜひ、これからもこの調査が続く限り、ご協力いただけると幸いです。



高知大学医学部
小児思春期医学講座
満田 直美 先生(小児科医)

2011年の開始以来、15年という長い間エコチル調査にご参加いただき、本当にありがとうございます。お子様たちの成長と一緒に見守らせていただけることを、とてもうれしく思っています。皆様の温かいご協力が、未来の子どもたちの健やかな環境づくりにつながっています。これからもお子様たちが健やかに成長されることを願っております。引き続きどうぞよろしくお願い致します。



高知赤十字病院 院長
溝淵 樹 先生

エコチル調査15周年おめでとうございます。全国でもたくさんの人に参加いただき有益なデータが得られているのは素晴らしいと思います。このような研究が、子どもが育つ環境やその影響を明らかにし、子ども達が健康に育つ仕組みにつながればいいと思います。また、少子化対策にも生かすことができればとも考えます。まだまだ延長されるよう調査にかかわるすべての人達を応援します。がんばって下さい。

高知県立幡多けんみん病院 診療部長
小児新生児部長 松下 憲司 先生

皆様の協力が未来の子ども達につながります。ありがとうございます。

高知大学医学部
小児思春期医学講座
石原 正行 先生(小児科医)

参加者の皆様
いつもいつも調査に参加していただき、ありがとうございます。皆様の参加により多くの知見が得られ、次々と新たな発見が報告されています。皆さんの子どもやお孫さん達のために、これからもご協力よろしくお祈り致します。貴重な試料を今後も役立てていきます。



高知大学医学部附属病院看護部
看護部長
原田 千枝 様

エコチル調査が開始された時、私は「日本でもこんな大規模な調査が始まるんだ、このことからどんなことがわかるのだろう」と、未来に思いを馳せたことを思い出します。あれから15年、高知県では約7000組の親子の皆様が本調査にご賛同、ご協力頂き、皆様から頂いた貴重なデータが多くの研究成果となり、世界に発信されています。私が所属している看護部は検査場所の提供等で関わっていますが、これからも親子の皆様が安心して、快適に検査に臨んで頂けるよう、ご支援したいと考えています。これからも本調査にご協力頂けますよう、お願い致します。

国立病院機構高知病院 小児科 医長
佐藤 哲也 先生

エコチル調査15周年、本当にお疲れ様です！皆様の日々の地道な積み重ねが、子どもたちの未来を守る大きな力になっています。今後さらなる発展が遂げられるよう強く期待しております。

国立病院機構高知病院 小児科 医長
前田 明彦 先生

15周年おめでとうございます。大切な生命と育ちの記録です。これからもどうぞよろしくお願い致します。

香南市健康対策課長
伊藤 祐美子 様

近年子どもの健康において、ぜんそくやアトピーなどのアレルギー疾患が増加しています。生活習慣や環境、化学物質などが人々の健康にどのような影響を与えるのかを解明していくこのエコチル調査は大変注目されています。はやいものでエコチル調査は15周年を迎えました。この間お忙しい中、調査にご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。13歳以降も調査が継続しておりますのでこれからもご協力よろしくお祈りいたします。また、全国15か所、10万組の親子を追跡していくという壮大なスケールの調査研究に携わっておられる事務局の方々に感謝を申し上げます。研究者の熱意により、毎年膨大な数の論文が発表されています。エコチル調査により、環境や化学物質が子どもの発育や発達に及ぼす影響が明らかにされることを期待しております。

香美市健康推進課

高知県の参加されている約7,000組の皆さまの真摯な取り組みに感謝です。13歳以降も継続して長期的調査を実施していくことで、貴重なデータの蓄積によって様々な事がわかってくるでしょう。多くの子どもたちの未来のために頑張る研究者と参加者の皆さまを、これからも応援しています。



参加者のみなさん
長きにわたりご協力いただきまして
ありがとうございます
13歳以降もどうぞよろしくお祈りいたします

こちらで
ご覧いただけます

わかってきたこと

